

平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年 7月 27日

上場会社名 富士電機ホールディングス株式会社
 コード番号 6504 (URL <http://www.fujielectric.co.jp>)

上場取引所 東大名福
 本社所在都道府県 東京都

代表者 役職・氏名 取締役社長 伊藤 晴夫
 問合せ責任者 役職・氏名 財務部長 松本 淳一

TEL (03) 5435-7232

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 (固定資産の減価償却の方法や法人税等の計上基準などについて一部簡便的な方法を採用しております。)
- 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 連結子会社数 67社 増加2社 減少2社
 持分法適用会社数 2社 (平成18年3月期末と同じ)

2. 平成19年 3月期第1四半期の財務・業績の概況 (平成18年 4月 1日 ~ 平成18年 6月 30日)

(1) 連結経営成績

(注) 本決算短信の金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	189,492	13.0	2,352	-	1,561	-	422	-
18年3月期第1四半期	167,630	6.0	1,140	-	620	-	1,047	-
(参考)18年3月期	897,277		41,012		41,831		18,603	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	0.59	-
18年3月期第1四半期	1.46	-
(参考)18年3月期	25.70	-

(注) 売上高、営業利益、経常利益、当期(四半期)純利益におけるパーセント表示は、対前年同期増減率

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	942,239	263,810	27.0	355.88
18年3月期第1四半期	855,574	190,912	22.3	266.94
(参考)18年3月期	990,054	275,072	27.8	384.38

(注) 18年3月期第1四半期および18年3月期は、様式および算定方法見直し前の開示済みの数値を記載しております。

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	9,045	7,418	12,374	17,482
18年3月期第1四半期	9,121	2,933	11,335	11,666
(参考)18年3月期	60,200	6,597	49,470	21,413

3. 平成19年 3月期の連結業績予想 (平成18年 4月 1日 ~ 平成19年 3月 31日)

	予想売上高	予想営業利益	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
中間期	400,000	4,500	4,500	1,000
通期	910,000	43,500	42,000	20,000

	1株当たり予想 当期純利益
	円 銭
中間期	1.40
通期	27.97

(注) 上記の予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

平成 18 年度第 1 四半期の連結業績概況

経 営 成 績

当期における当社グループを取り巻く経営環境は、素材価格の高騰といったマイナス要因がありましたが、国内では、設備投資など国内民間需要に支えられた景気回復が持続し、また海外経済も米国、アジアを中心に景気が拡大し、総じて順調に推移しました。

このようななか、当社グループの連結業績は次のとおりとなりました。

売上高は、リテイルシステム部門で、自販機業界全体の需要減少や新紙幣発行に伴う需要の収束により、前年同期を大幅に下回りましたが、「電機システム」、「機器・制御」、「電子デバイス」の各部門で前年同期を上回り、全体では前年同期比 13.0%増の 1,894 億円となりました。

損益面では、民需分野の事業拡大やグループを挙げての業務革新活動により経費削減を図ることができましたが、リテイルシステム部門の売上減少により、営業損益は、前年同期比 12 億 12 百万円悪化の 23 億 52 百万円、経常損益は、同 9 億 41 百万円悪化の 15 億 61 百万円となりました。当期純損益は、特別損失の減少により同 6 億 25 百万円改善し、4 億 22 百万円となりました。

【セグメント別状況】

電機システム部門

当部門の売上高は、前年同期比 42.2%増の 666 億円となり、営業損益は前年同期に比べ 11 億 44 百万円改善し、86 億 10 百万円となりました。

e - ソリューション分野では、自治体向け文書管理システムなどで実績を挙げましたが、情報システムの大口案件減少の影響により、売上高は前年同期を下回り、営業損益も悪化しました。

環境システム分野では、水処理システムの大口案件の計上により売上高は前年同期を上回り、営業損益も、コストおよび経費の削減により改善しました。

産業プラント分野では、順調な国内の民間設備投資を背景として、クリーンルーム設備や素材産業向けの電気設備など総じて順調に推移し、売上高は前年同期を大幅に上回りました。営業損益も、売上高の増加影響に加え、経費削減により改善しました。

発電プラント分野では、売上高は国内の I P P（独立系発電事業者）向け火力発電設備の大口案件により、前年同期を大幅に上回りました。一方、営業損益は一部の海外案件の追加費用の発生などにより悪化しました。

工事部門では、民需向け工事の大口案件の増加により、売上高は前年同期を上回り、営業損益も改善しました。

機器・制御部門

当部門の売上高は、前年同期比 15.6%増の 450 億円となり、営業損益は同 72.4%増の 20 億 19 百万円となりました。

器具分野では、国内市場において工作機械分野など、好調を継続する業種への拡販に注力した結果、電磁開閉器や低圧遮断器などの主要製品やエネルギー監視機器の売上高が伸長しました。海外市場でも、主要製品の海外規格対応を進めた結果、売上高が増加しました。これらの結果、当分野の売上高は前年同期を上回り、また、営業損益も、素材価格高騰の影響を、売上高の増加や経費等を含めたトータルコストダ

ウンによりカバーし、前年同期を上回りました。

駆動制御分野では、国内市場において、ポンプ関連、印刷機、繊維機械などの当社主要顧客が好調であり、インバータ、サーボシステム、プログラマブルコントローラ、プログラマブル操作表示器の売上高が増加しました。海外市場でも中国のクレーンメーカー向けなどを中心に、主要製品が好調に推移しました。これらの結果、当分野の売上高、営業損益はともに前年同期を上回りました。

電子デバイス部門

当部門の売上高は、前年同期比 25.8%増の 458 億円となり、営業損益は同 62.3%増の 27 億 69 百万円となりました。

半導体分野では、自動車電装向けは、高機能 MOSFET、車載用 IGBT モジュールの拡販と、今後の伸長が期待出来るハイブリッドカー用新製品の開発に注力しました。産業分野向けは、工作機械関連・汎用インバータ向け IGBT を中心として好調に推移しました。情報機器電源向けは、主力製品であるプラズマテレビ用高耐圧 IC と MOSFET の生産能力増強により売上高は増加しました。これらの結果、当分野の売上高は前年同期を上回りましたが、営業損益は、新機種立上げに伴う研究開発費、資本費の増加などにより悪化しました。

ディスク媒体分野では、HDD (磁気記録装置) の需要拡大を背景として、生産能力増強の効果により、売上高、営業損益ともに前年同期を大幅に上回りました。また、HDD の大容量化ニーズに対応した垂直磁気記録方式の 2.5 インチガラス媒体の量産を開始しました。

画像デバイス分野では、旧型機種種のセレン感光体は減少しましたが、セットメーカー向け OPC (有機感光体) が好調に推移した結果、売上高は前年同期を上回りました。一方、営業損益は前年同期並となりました。

リテイルシステム部門

当部門の売上高は、前年同期比 25.4%減の 359 億円となり、営業損益は同 74.8%減の 13 億 77 百万円となりました。

自販機・フード機器・通貨機器分野では、主力の缶自販機、カップ自販機の需要は業界全体として低調に推移するなか、当社グループの売上高も減少しました。たばこ自販機は、大口案件の売上の収束により前年同期を下回りました。また、通貨関連機器も新紙幣発行に伴う需要の収束により減少しました。これらの結果、当分野の売上高、営業損益はともに前年同期を大幅に下回りました。

コールドチェーン機器分野では、スーパーマーケット向けは、市場全体はほぼ横這いで推移するなか、積極的な受注活動により、売上高は前年同期を上回りました。コンビニエンスストア向けは、市場全体では前年同期に比べ若干減少しましたが、大口案件の受注に加え、新規顧客の開拓に注力した結果、売上高は前年同期を若干上回ることができました。これらの結果、当分野の売上高、営業損益はともに前年同期を上回りました。

その他部門

当部門の売上高は、前年同期比 1.7%増の 103 億円となり、営業損益は、管理部門の人材の育成と効率的な運営を目指し、共通サービス会社の機能統合を図ったことにより、同 7.9%増の 2 億 31 百万円となりました。

財 政 状 態

当第1四半期末の総資産は9,422億円となり、前期末に比べ478億円減少しました。

資産の部においては、売上債権が349億円減少する一方で、第2四半期の売上に備えて棚卸資産が120億円増加しました。また、投資有価証券の時価評価差額相当分が減少したことを主因として、投資その他の資産が289億円減少しました。

負債の部では、買入債務が207億円減少し、金融債務残高が151億円増加しました。なお、当第1四半期末の金融債務残高は2,902億円となりました。

純資産の部は、利益剰余金が33億円減少し、その他有価証券評価差額金も168億円減少したことなどにより、当第1四半期末では2,638億円となりました。また、純資産合計から少数株主持分を除いた自己資本は2,544億円となり、自己資本比率は前期末に比べ0.8ポイント低下して27.0%となりました。

なお、当第1四半期のフリー・キャッシュ・フローは164億円の資金の減少（前年同期61億円の資金の増加）となりました。

平成18年度中間期の連結業績予想

平成18年度中間期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年4月27日の決算発表時に公表した平成18年度（平成18年4月1日～平成19年3月31日）の中間期連結業績予想を下記の通り修正することと致しました。詳細につきましては、平成18年7月27日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、第2四半期の対米ドル為替円レートは、114円/1ドルを想定しております。

（単位：億円）

平成18年度中間期連結業績予想

	当初計画	今回予想	増減
売上高	3,930	4,000	+70
営業利益	35	45	+10
経常利益	35	45	+10
中間純利益	0	10	+10

平成18年度中間期連結部門別売上高・営業利益予想

	売上高			営業利益		
	当初計画	今回予想	増減	当初計画	今回予想	増減
電機システム	1,400	1,470	+70	90	85	+5
機器・制御	890	920	+30	35	40	+5
電子デバイス	910	940	+30	75	85	+10
リテイルシステム	800	750	50	15	10	5
その他	255	255	0	5	5	0
消去/全社	325	335	10	5	10	5
合計	3,930	4,000	+70	35	45	+10

【注記事項】

上記の業績予想は、市場における当社グループ製品の需給の急激な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動、日本の株式相場の変動などにより、実際の業績と異なる場合があり得ることをご承知置き願います。

以 上

比較連結貸借対照表

(単位：百万円)

	18年度第1四半期末 (18年6月30日)		平成17年度末 (18年3月31日)		増 減	前期比(%)
		構成比(%)		構成比(%)		
(資産の部)						
流動資産	422,743	44.9	442,049	44.6	19,306	95.6
現金及び預金	17,596		21,527		3,931	
受取手形及び売掛金	205,613		240,599		34,986	
棚卸資産	149,519		137,442		12,077	
その他	50,013		42,481		7,532	
固定資産	519,346	55.1	548,004	55.4	28,658	94.8
有形固定資産	150,769		150,350		419	
無形固定資産	8,237		8,351		114	
投資その他の資産	360,339		389,302		28,963	
繰延資産	148	0.0	-	-	148	-
資産合計	942,239	100.0	990,054	100.0	47,815	95.2
(負債の部)						
流動負債	441,071	46.8	490,297	49.5	49,226	90.0
支払手形及び買掛金	160,360		181,082		20,722	
短期借入金	90,275		64,645		25,630	
その他	190,435		244,568		54,133	
固定負債	237,356	25.2	214,867	21.7	22,489	110.5
社債	118,000		80,000		38,000	
長期借入金	38,963		42,700		3,737	
その他	80,393		92,167		11,774	
負債合計	678,428	72.0	705,164	71.2	26,736	96.2
(純資産の部)						
株主資本	172,264	18.3	-	-	-	-
資本金	47,586		-	-	-	-
資本剰余金	46,713		-	-	-	-
利益剰余金	84,871		-	-	-	-
自己株式	6,907		-	-	-	-
評価・換算差額等	82,192	8.7	-	-	-	-
その他有価証券評価差額金	83,143		-	-	-	-
繰延ヘッジ損益	1		-	-	-	-
為替換算調整勘定	953		-	-	-	-
少数株主持分	9,354	1.0	-	-	-	-
純資産合計	263,810	28.0	-	-	-	-
負債・純資産合計	942,239	100.0	-	-	-	-
(少数株主持分)						
少数株主持分	-	-	9,817	1.0	-	-
(資本の部)						
資本金	-		47,586		-	
資本剰余金	-		46,713		-	
利益剰余金	-		88,175		-	
その他有価証券評価差額金	-		100,029		-	
為替換算調整勘定	-		544		-	
自己株式	-		6,887		-	
資本合計	-	-	275,072	27.8	-	-
負債、少数株主持分及び資本合計	-	-	990,054	100.0	-	-
金融債務残高	290,238	30.8	275,046	27.8	15,192	105.5

比較連結損益計算書

(単位：百万円)

	18年度第1四半期 (18年4月～18年6月)		17年度第1四半期 (17年4月～17年6月)		増 減	前年同期比 (%)
		構成比(%)		構成比(%)		
売 上 高	189,492	100.0	167,630	100.0	21,862	113.0
売 上 原 価	153,605	81.1	131,324	78.3	22,281	117.0
売 上 総 利 益	35,886	18.9	36,306	21.7	420	98.8
販売費及び一般管理費	38,239	20.1	37,447	22.4	792	102.1
営 業 損 益	2,352	1.2	1,140	0.7	1,212	-
営 業 外 収 益	2,217	1.2	2,074	1.2	143	106.9
(受取利息・配当金)	(1,715)		(1,468)		(247)	
(雑 収 入)	(501)		(605)		(104)	
営 業 外 費 用	1,426	0.8	1,554	0.9	128	91.8
(支 払 利 息)	(758)		(671)		(87)	
(雑 支 出)	(667)		(883)		(216)	
経 常 損 益	1,561	0.8	620	0.4	941	-
特 別 利 益	507		290		217	
特 別 損 失	735		2,008		1,273	
税金等調整前当期純損益	1,789	0.9	2,338	1.4	549	-
法 人 税 等	1,045		839		206	
少 数 株 主 利 益	321		452		131	
当 期 純 損 益	422	0.2	1,047	0.6	625	-

比較連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	18年度第1四半期 (18年4月～18年6月)	17年度第1四半期 (17年4月～17年6月)	増 減
. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純損益	1,789	2,338	549
減価償却費	3,988	3,895	93
受取利息及び受取配当金	1,715	1,468	247
支払利息	758	671	87
売上債権の増減額	34,859	51,894	17,035
棚卸資産の増減額	11,989	24,827	12,838
仕入債務の増減額	20,444	27,792	7,348
前受金の増減額	9,720	19,110	9,390
その他	16,677	12,334	4,343
小計	3,290	6,809	10,099
利息及び配当金の受取額	1,684	1,466	218
利息の支払額	940	855	85
法人税等の支払額	6,499	1,701	8,200
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,045	9,121	18,166
. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産、有価証券及び投資有価証券の取得による支出	7,710	3,275	4,435
有形固定資産、有価証券及び投資有価証券の売却による収入	321	491	170
その他	28	150	122
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,418	2,933	4,485
(+ フリー・キャッシュ・フロー)	[16,463]	[6,187]	[22,650]
. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	22,608	8,912	13,696
コマーシャルペーパーの純増減額	36,700	17,000	19,700
長期借入れ及び社債の発行	50,180	1,500	48,680
長期借入金の返済及び社債の償還	20,791	2,753	18,038
その他	2,923	1,994	929
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,374	11,335	23,709
. 現金及び現金同等物に係る換算差額	4	125	129
. 現金及び現金同等物の増減額 (+ + +)	4,092	5,023	931
. 現金及び現金同等物の期首残高	21,413	16,215	5,198
. 連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	161	474	313
. 現金及び現金同等物の期末残高	17,482	11,666	5,816

セグメント情報

(単位：百万円)

		18年度第1四半期		17年度第1四半期		前年同期比 (%)
		(18年4月～18年6月)	構成比(%)	(17年4月～17年6月)	構成比(%)	
部 門 別 売 上 高	電機システム	66,633	33	46,866	26	142
	機器・制御	45,098	22	39,018	21	116
	電子デバイス	45,896	22	36,474	20	126
	リテイルシステム	35,903	18	48,100	27	75
	その他	10,338	5	10,170	6	102
	小計	203,869	100	180,629	100	113
	消去	14,376	-	12,999	-	-
	合計	189,492	-	167,630	-	113
部 門 別 営 業 損 益	電機システム	8,610	-	9,754	-	-
	機器・制御	2,019	-	1,171	-	172
	電子デバイス	2,769	-	1,706	-	162
	リテイルシステム	1,377	-	5,463	-	25
	その他	231	-	214	-	108
	小計	2,211	100	1,197	100	-
	消去又は全社	140	-	57	-	-
	合計	2,352	-	1,140	-	-

平成18年度 第1四半期 連結決算補足説明資料

(単位：億円)

1. 決算概要

	平成18年度				平成17年度			
	第1四半期実績		上半期予想		第1四半期		上半期	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
売上高	1,894	113.0%	4,000	108.3%	1,676	106.0%	3,693	101.4%
営業利益	23	-	45	135.1%	11	-	33	-
経常利益	15	-	45	121.0%	6	-	37	-
当期純利益	4	-	10	-	10	-	7	-

2. 連結子会社数・持分法適用会社数

	平成18年度		平成17年度	
	第1四半期実績	上半期予想	第1四半期	上半期
連結子会社数	67	67	66	66
持分法適用会社数	2	2	2	2

3. 一株当たり当期純利益

	平成18年度		平成17年度	
	第1四半期実績	上半期予想	第1四半期	上半期
一株当たり当期純利益(円)	0.59	1.40	1.46	1.04

4. 平均為替レート (US\$)

	平成18年度		平成17年度	
	第1四半期実績	上半期予想	第1四半期	上半期
平均為替レート(円)	114.50	114.25	107.69	109.48

5. 部門別売上高

	平成18年度				平成17年度			
	第1四半期実績		上半期予想		第1四半期		上半期	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
電機システム	666	142.2%	1,470	113.6%	468	101.6%	1,293	96.6%
機器・制御	450	115.6%	920	109.8%	390	93.7%	838	94.5%
電子デバイス	458	125.8%	940	123.8%	364	108.3%	759	107.6%
リテイルシステム	359	74.6%	750	85.6%	481	115.4%	876	106.8%
その他	103	101.7%	255	102.1%	101	119.8%	249	126.7%
小計	2,038	112.9%	4,335	107.9%	1,806	105.2%	4,017	101.7%
消去	143	-	335	-	129	-	324	-
合計	1,894	113.0%	4,000	108.3%	1,676	106.0%	3,693	101.4%

(注) 各部門の売上高には、部門間の内部売上高を含めて表示しています。

6. 部門別営業利益

	平成18年度				平成17年度			
	第1四半期実績		上半期予想		第1四半期		上半期	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
電機システム	86	-	85	-	97	-	126	-
機器・制御	20	172.4%	40	122.9%	11	104.3%	32	111.1%
電子デバイス	27	162.3%	85	128.7%	17	149.4%	66	127.5%
リテイルシステム	13	25.2%	10	18.6%	54	191.8%	53	187.8%
その他	2	107.9%	5	52.5%	2	611.4%	9	150.6%
小計	22	-	55	154.3%	11	-	35	-
消去又は全社	1	-	10	-	0	-	2	-
合計	23	-	45	135.1%	11	-	33	-

7. 研究開発費

	平成 18 年度				平成 17 年度			
	第 1 四半期実績		上半期予想		第 1 四半期		上半期	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
電機システム	15	85.1%	43	102.9%	17	111.2%	42	94.4%
機器・制御	9	100.8%	19	106.6%	9	99.6%	18	93.4%
電子デバイス	44	142.9%	73	130.5%	30	117.4%	56	122.1%
リテイルシステム	9	116.0%	21	124.2%	8	108.7%	17	102.9%
その他	0	-	0	-	0	-	0	-
全社（基礎研究等）	0	-	0	-	2	40.6%	4	51.5%
合計	79	114.5%	159	114.2%	69	106.1%	139	102.0%
対売上高比率（%）	4.2%	-	4.0%	-	4.1%	-	3.8%	-

8. 設備投資額

	平成 18 年度				平成 17 年度			
	第 1 四半期実績		上半期予想		第 1 四半期		上半期	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
電機システム	7	158.0%	38	222.8%	4	201.4%	17	124.4%
機器・制御	5	119.2%	28	148.7%	4	104.2%	19	131.0%
電子デバイス	51	138.0%	152	131.5%	37	80.8%	116	91.3%
リテイルシステム	8	213.0%	26	204.5%	3	112.2%	12	143.5%
その他	3	142.7%	10	187.0%	2	110.6%	5	83.2%
全社（共通）	0	-	0	-	0	-	2	-
合計	75	142.8%	257	148.4%	52	89.2%	173	100.1%
内リース取得	42	145.3%	151	154.0%	29	93.6%	98	89.9%

（注）設備投資額は、有形固定資産への投資額とリース契約による設備取得額の合計値です。

9. 減価償却費、支払リース料

	平成 18 年度				平成 17 年度			
	第 1 四半期実績		上半期予想		第 1 四半期		上半期	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
電機システム	12	119.8%	26	103.2%	10	96.3%	26	112.9%
機器・制御	10	101.5%	21	103.1%	10	98.8%	21	99.1%
電子デバイス	55	129.7%	112	142.2%	42	106.9%	78	99.1%
リテイルシステム	8	101.4%	18	102.7%	8	98.0%	17	98.2%
その他	5	105.8%	11	111.4%	4	76.5%	10	95.3%
全社（共通）	0	-	0	-	0	-	1	-
合計	93	119.3%	191	123.2%	78	100.6%	155	100.6%
内支払リース料	59	131.7%	121	127.9%	44	103.3%	95	110.2%

（注1）減価償却費は有形固定資産の減価償却費です。

（注2）支払リース料は、生産設備の支払リース料です。

10. 期末従業員数（定期社員除く）

	平成 18 年度		平成 17 年度	
	第 1 四半期実績	上半期予想	第 1 四半期	上半期
電機システム	10,240	10,164	10,399	10,293
機器・制御	5,213	5,229	4,960	4,962
電子デバイス	5,430	5,625	4,795	4,977
リテイルシステム	3,036	3,017	3,044	3,021
その他	1,823	1,854	1,807	1,774
本部（共通）	138	141	132	128
合計	25,880	26,030	25,137	25,155